

かるがも



第12号

発行所 千葉県こども病院
〒266-0007 千葉市緑区辺田町 579-1
TEL 043-292-2111
FAX 043-292-3815
<http://www.pref.chiba.jp/byouin/kodomo/>

新年のご挨拶



病院長 伊達裕昭

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

昨年は夏の高気温、地震、風水害など地球規模で異常気象に見舞われた一年でした。千葉でも年末に初雪が降りましたが、この冬の暖かな毎日がかつての暮れ正月の記憶とは異なり、年末年始の実感が薄らぐような気がいたしました。気候上の変化ばかりでなく、私が子供であった頃（昭和30年代の昔ですが）には、冬休みが始まり大晦日・元旦へと向かう数日は子供心にもいつもとは違う「ハレの日」を感じさせるに十分な何かがありました。しかし現在では、料理もお餅もテレビの番組にしてももはや暮れ正月に特別なものは何もなく、子供たちにとっては元旦もただの休みの一日としか感じないのかも知れません。正月は特別な日として育った私などには少し寂しい気もいたしますが、暮れからお正月を病院に入院したままで過ごさねばならなかった子供たちには、ほかの休みの日と同じだからと慰めてあげたい、そんな相反する複雑な心境で新年を迎えました。

さて当院を始めとする県立の7病院は、昨年4月から新設された病院局のもとで経営の効率化とさらに質の高い医療サービスの提供を行うべく、平成19年度までの中期経営計画を策定し、年末に県民の皆様にごその内容を公開いたしました（千葉県病院局ホームページ；<http://www.pref.chiba.jp/byouin/>）。

私たちこども病院は平成19年度末までの3年間に、

- *入院を要する重症な小児急性期医療への対応を強化する
- *外来機能を特化し、積極的に地域医療との連携を深め支援する
- *県民の要望を入れた安全で信頼される医療の提供を推進する
- *高度医療を継続的に提供するための経営的な基盤を確立する

ことを病院の方向性として確認し、院内の業務全般の見直しを進めていきます。中でも、積極的な地域医療との連携と支援については、昨年末の千葉県医療審議会において「地域医療支援病院」としての承認を得ることができました。これは千葉県内では安房医師会病院に次ぐ取得であり、小児医療における居住地域の医師と当院との強い結びつきが評価されたものと考えます。今後はさらに多くの診療所、病院と組織連携を深め、研修や共同診療を通して疾病の情報を共有し、お互いの役割分担を明らかにすることで、皆様の生活圏における安心できる小児医療の発展にさらに努めようと思えます。

ただし県民の皆様の要望を入れた信頼される医療を確立するということは、必ずしも皆様のご希望通りの医療を行うことを意味するものではありません。信頼される医療は、専門家としての私たち職員と病院に来院される皆様がお互いの考え方を相互に理解し合い、協力し合うことを通して、病気の子供たちのために納得いく医療を実施することにあると考えます。そのためには疾病について、また当院が提供できる医療内容とその限界について皆様にもご理解を頂く努力が求められますが、職員はいつでもそのお手伝いをさせていただきます。どうかよろしくご協力ください。

昨年も全国で多くの医療事故が報道され、病院に対する皆様のご心配、不安は消えることがありませんでした。医療の安全は何にも代え難いものですが、現実には病院内の医療行為は手術にしても服薬や注射などの薬剤の使用にしても日常から逸脱した行為であり、その実施手順の中に様々な危険を内在していることは間違いありません。事故に結びつきかねないこうした危険を少しでも減らすために、中期計画では院内業務のIT化を進めることも重点事業に掲げました。しかし医療が人の行為である以上、コンピューターがすべてを解決できるわけではありません。私たちは職員全体が日常の医療行為の中に潜む危険を再認識して、組織として事故を未然に防ぐことができる安全な医療体制の構築を目標にさらに検討を重ねていきます。そしてより安心でき信頼される病院を目指したいと思っています。

こうした私たちの思いが初夢のままで終わることなく実現できるよう、そして皆様にとりましても平成17年がより佳き年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶に代えさせていただきます。

平成17年1月1日

